

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 明治ホールディングス株式会社

コード番号 2269 URL <http://www.meiji.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 尚忠

問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長

(氏名) 梅本 隆司

TEL 03-3273-3917

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	555,308	—	13,573	—	13,443	—	5,406	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	73.42	—
21年3月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	728,988	—	289,046	—	38.6	3,820.82
21年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 281,340百万円 21年3月期 一百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

統合初年度の平成22年3月期につきましては、当期末時点の株主様に対して、1株当たり80円の期末配当を予定しております。平成23年3月期以降につきましては、中間期末を基準日とする配当(いわゆる中間配当)も実施する予定です。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,124,000	—	26,000	—	26,000	—	12,000	—	162.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 76,341,700株 21年3月期 一株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 2,708,105株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 73,637,018株 21年3月期第2四半期 一株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当社は平成21年4月1日に明治製菓(株)と明治乳業(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績全般

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
第2四半期 連結累計期間	555,308	13,573	13,443	5,406	73.42
第2四半期 連結累計期間 業績予想値	571,000	10,500	10,500	4,500	61.11
第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)	97.3	129.3	128.0	120.1	—

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に景気の持ち直しの兆しが見られるものの、企業収益の悪化や雇用不安から消費者の生活防衛型の購買行動が顕著となり物価下落が心配されるなど、依然として厳しい状況が続きました。

食品業界では、原材料価格の落ち着きと円高傾向が続く一方、低価格志向の広がりに対応した価格競争の激化に加え、夏場の天候不順により飲料をはじめ季節商品の売上不振などもありました。

乳業界では、値ごろ感に配慮した商品や脂肪を抑えた商品が相次いで発売されるなど、市場活性化に向けた動きが活発化したものの、依然として牛乳類全体の減少傾向に歯止めがかからない状況が続きました。

菓子業界では、市場全体の伸びが見込めない状況下、主要な原材料価格の高止まりや店頭における価格競争の一層の激化など、極めて厳しい環境が続いています。

薬品業界では、医療用医薬品においては、医療費抑制策の推進、また、農薬・動物薬においては、申請・登録審査基準の厳格化をはじめとした行政による規制・指導が強化されるなど、引き続き大変厳しいものとなりました。

かかる状況下、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,553億8百万円、営業利益は135億73百万円、経常利益は134億43百万円、四半期純利益は54億6百万円となりました。これを第2四半期連結累計期間業績予想値に対する進捗率で見ますと、売上高は97.3%と計画を下回ったものの、営業利益は129.3%、経常利益は128.0%、四半期純利益は120.1%と、利益面では計画を上回る結果となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

(2) セグメント別の概況 (連結)

(単位：百万円)

	乳製品	菓子・健康	医薬品	サービス他	合計
売上高	316,167	136,924	58,077	72,316	583,487
営業利益	10,112	109	2,186	1,708	14,116

(注) 売上高、営業利益は、セグメント間の取引を消去する前の金額によっております。

経営統合により当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。したがって、セグメント別の概況については、下記のとおり業績予想値(第2四半期連結累計期間)に対する進捗状況にて説明致します。

①乳製品

	第2四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)
売上高	316,167	99.0
営業利益	10,112	115.7

(注) 従来の明治乳業の「食品」セグメントに相当。

市乳(牛乳類・ヨーグルト等)、粉乳(コナミルク等)、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、栄養食品(流動食・ヴァーム等)、畜産品等の製造・販売。

《主な業績のポイント》

- ・売上高は、業務用バターや天候不順の影響を受けたアイスクリームが苦戦したものの、市乳において、新商品の投入や値ごろ感に配慮した販売が奏功したヨーグルトが好調に推移、さらに、粉乳、チーズ、マーガリンなどが売上を伸ばしたことから、全体では、ほぼ計画通り推移しました。
- ・営業利益は、高付加価値商品の増売や輸入原材料コストの低減などにより、計画を上回りました。

②菓子・健康

	第2四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)
売上高	136,924	96.0
営業利益	109	18.2

(注) 従来の明治製菓の「フード&ヘルスケア」セグメントに相当。

菓子、砂糖および糖化穀粉等、健康食品(アミノコラーゲン等)、一般医薬品(イソジン等)等の製造・販売、スポーツクラブの経営等。

《主な業績のポイント》

- ・売上高は、菓子ではチョコレート群が順調に推移、健康では「イソジン」が大幅に増売しました。一方、チョコレート以外の菓子カテゴリーや、海外は苦戦しました。
- ・営業利益は、売上減、販売費増等もあり計画には届きませんでした。収支構造改善および原価低減を推し進めることにより黒字を確保しました。

③医薬品

	第2四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)
売上高	58,077	101.7
営業利益	2,186	365.0

(注) 従来の明治製菓の「薬品」セグメントに、明治乳業の「その他」セグメント中の医薬品事業(大蔵製菓等)を加えたもの。医療用医薬品および農薬・動物薬等の製造・販売。

《主な業績のポイント》

- ・売上高は、新薬2製品(「オラペネム」「リフレックス」)の発売、ジェネリック医薬品の伸長により堅調に推移しました。
- ・営業利益は、売上増による限界利益増に加え、販売費の抑制等により計画を上回りました。

④サービス他

	第2四半期 連結累計期間 (単位：百万円)	第2四半期 連結累計期間 業績予想値進捗率(%)
売上高	72,316	95.6
営業利益	1,708	305.0

(注) 従来の明治乳業の「サービス・その他」セグメントの医薬品以外に明治製菓の「ビル賃貸他」のセグメントを加えたもの。不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等の事業。

《主な業績のポイント》

- ・売上高は、物流事業の売上減と配合飼料価格の引き下げを行ったことによる飼料事業の売上減が響き、計画を下回りました。
- ・営業利益は、燃料コストが低下した物流事業と、穀物飼料相場に落ち着きのみられた飼料事業がそれぞれ増益となったことなどから、計画を上回りました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当期末の資産、負債、純資産の状況

①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は7,289億88百万円となりました。うち流動資産は3,068億57百万円、固定資産は4,221億31百万円であります。

流動資産の主な内容としたしましては、受取手形及び売掛金1,524億35百万円、商品及び製品741億24百万円であります。

固定資産の主な内容としたしましては、有形固定資産3,348億33百万円、無形固定資産105億66百万円、投資その他の資産767億31百万円であります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,399億42百万円となりました。うち流動負債は3,137億3百万円、固定負債は1,262億38百万円であります。

流動負債の主な内容としたしましては、支払手形及び買掛金1,007億37百万円、短期借入金877億35百万円、コマーシャル・ペーパー260億円であります。

固定負債の主な内容としたしましては、社債550億円、長期借入金345億38百万円であります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,890億46百万円となりました。なお、自己資本比率は38.6%、1株当たり純資産額は3,820.82円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

区 分	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,063
現金及び現金同等物の期首残高	14,429
新規連結による現金及び現金同等物増加額	228
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,721

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費、売上債権の減少等により243億28百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、146億18百万円の支出となりました。

これにより、フリー・キャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計額）は97億10百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、金融債務の減少等により87億23百万円の支出となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は157億21百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,143,000	25,000	25,000	11,500
今回修正予想 (B)	1,124,000	26,000	26,000	12,000
増減額 (B - A)	△19,000	1,000	1,000	500

通期業績につきましては、第2四半期までの計画の進捗状況、および第3四半期以降も懸念される景気低迷や企業間競争激化等厳しい市場環境を勘案し、今回、以下のとおり連結業績予想数値を修正いたします。

売上高につきましては、第2四半期連結累計期間の業績予想数値を下回ったこと、第3四半期以降も飼料販売などで減収が見込まれることから、1兆1,240億円へ減額修正いたします。

一方、利益につきましては、第2四半期連結累計期間実績が業績予想数値を上回ったとはいえ、第3四半期以降「乳製品セグメント」や「菓子・健康セグメント」におきまして、個人消費の低迷や一層の競争激化が予想されることから、上期上乘せ利益を圧縮の上、営業利益を260億円、経常利益を260億円、当期純利益を120億円に、それぞれ増額修正いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が連結子会社の前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、連結子会社の前事業年度末に算定した貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

(棚卸資産の評価方法)

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、連結子会社の前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

棚卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

一部の連結子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算を策定しており、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

また、一部の連結子会社においては、定率法を採用している資産について、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当社は平成21年4月1日に明治製菓(株)と明治乳業(株)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、該当事項はありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
 (平成21年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	15,824
受取手形及び売掛金	152,435
商品及び製品	74,124
仕掛品	2,987
原材料及び貯蔵品	29,998
その他	31,830
貸倒引当金	△342
流動資産合計	306,857
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	302,838
減価償却累計額	△161,271
建物及び構築物（純額）	141,567
機械装置及び運搬具	401,114
減価償却累計額	△295,022
機械装置及び運搬具（純額）	106,092
工具、器具及び備品	56,052
減価償却累計額	△45,120
工具、器具及び備品（純額）	10,931
土地	67,322
リース資産	3,466
減価償却累計額	△620
リース資産（純額）	2,846
建設仮勘定	6,071
有形固定資産合計	334,833
無形固定資産	
のれん	1,146
その他	9,420
無形固定資産合計	10,566
投資その他の資産	
投資有価証券	47,788
その他	30,183
貸倒引当金	△1,240
投資その他の資産合計	76,731
固定資産合計	422,131
資産合計	728,988

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成21年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	100,737
短期借入金	87,735
コマーシャル・ペーパー	26,000
未払法人税等	6,286
賞与引当金	12,435
返品調整引当金	292
売上割戻引当金	4,973
その他	75,243
流動負債合計	313,703
固定負債	
社債	55,000
長期借入金	34,538
退職給付引当金	14,688
役員退職慰労引当金	604
その他	21,407
固定負債合計	126,238
負債合計	439,942
純資産の部	
株主資本	
資本金	30,000
資本剰余金	98,900
利益剰余金	161,936
自己株式	△9,468
株主資本合計	281,368
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	5,682
繰延ヘッジ損益	△3,601
為替換算調整勘定	△2,108
評価・換算差額等合計	△27
少数株主持分	7,705
純資産合計	289,046
負債純資産合計	728,988

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	555,308
売上原価	372,254
売上総利益	183,053
販売費及び一般管理費	169,480
営業利益	13,573
営業外収益	
受取利息	28
受取配当金	648
固定資産賃貸料	701
持分法による投資利益	135
雑収入	704
営業外収益合計	2,217
営業外費用	
支払利息	1,296
為替差損	519
雑損失	531
営業外費用合計	2,347
経常利益	13,443
特別利益	
固定資産売却益	146
その他	80
特別利益合計	227
特別損失	
固定資産廃棄損	1,524
減損損失	91
その他	535
特別損失合計	2,152
税金等調整前四半期純利益	11,518
法人税等	5,937
少数株主利益	173
四半期純利益	5,406

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	11,518
減価償却費	18,584
減損損失	91
のれん償却額	193
有形固定資産除却損	1,088
投資有価証券評価損益 (△は益)	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,480
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27
受取利息及び受取配当金	△676
支払利息	1,296
持分法による投資損益 (△は益)	△135
有形固定資産売却損益 (△は益)	△146
売上債権の増減額 (△は増加)	3,742
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,426
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,111
その他	△8,970
小計	30,766
利息及び配当金の受取額	787
利息の支払額	△1,250
法人税等の支払額	△5,975
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△13,371
無形固定資産の取得による支出	△1,068
有形及び無形固定資産の売却による収入	305
投資有価証券の取得による支出	△347
その他	△136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	46,735
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△13,000
長期借入金の返済による支出	△4,200
社債の償還による支出	△35,000
少数株主からの払込みによる収入	65
自己株式の増減額 (△は増加)	△48
配当金の支払額	△2,547
少数株主への配当金の支払額	△155
その他	△571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,063
現金及び現金同等物の期首残高	14,429
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	228
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,721

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	乳製品 (百万円)	菓子・ 健康 (百万円)	医薬品 (百万円)	サービス 他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	314,332	133,297	56,842	50,835	555,308	—	555,308
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,834	3,626	1,235	21,481	28,178	(28,178)	—
計	316,167	136,924	58,077	72,316	583,487	(28,178)	555,308
営業利益	10,112	109	2,186	1,708	14,116	(543)	13,573

(注) 1 事業区分の方法

事業区分の方法は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
乳製品事業	市乳、粉乳、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、畜産品等
菓子・健康 事業	菓子、砂糖及び糖化穀粉等、健康食品、薬局・薬店向け医薬品等、スポーツクラブの 経営等
医薬品事業	医薬品及び農畜薬等
サービス他 事業	不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成21年4月1日に明治製菓㈱と明治乳業㈱が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金は30,000百万円、資本剰余金は98,900百万円、利益剰余金は161,936百万円となっております。なお、発行済株式数は76,341千株となっております。